

ＡＯＩ国際病院 Ｔｉｍｅ's

ＶＯＬ．３８ 夏号

目次

P1-2　おしえて！
　　ドクターインタビュー
　～歯科口腔外科 遠藤先生～

P3-5　新任医師のご紹介

P6　　患者満足度調査結果

P7　　編集後記

病院の理念

地域の皆様に信頼していただける、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 救急医療から、一般急性期、回復期、慢性期、緩和ケア期までのシームレスな総合医療を提供します。
2. 川崎市臨海地域病院として、各医療機関、保健福祉機関と密接に連携します。
3. 生活習慣病健診を充実させ、予防医学に貢献します。
4. 運営の持続的安定を確保し、病院としての責任を果たします。
5. 職員が誇りを持てる働き甲斐のある病院を目指します。

第14回

教えて！インタビュー





もっと皆様に当院のことを知っていただきたくAOI国際病院で働く医師をご紹介いたします。
第14回目は、AOI国際病院　歯科口腔外科　遠藤　研人 先生にお話を伺いました。

経歴

2019年　北海道大学歯学部　卒業
2019年　横浜労災病院　歯科研修医
2021年　東京医療センター　歯科口腔外科
2025年　AOI国際病院　歯科口腔外科

資格/専門医

日本口腔外科学会認定医
臨床検査技師



歯科口腔外科

遠藤（えんどう）　研人（けんと）　医師

Q1.　まず最初に、口腔外科とはどのような診療科ですか？歯科との違いについても教えてください。

口腔外科とは、簡単にわかりやすく一言で言うならば、『歯科医院では対応できないようなお口周りの病気を扱う診療科』です。歯医者さんでは抜くのが難しい歯の抜歯から顎の骨の骨折など幅広く対応する診療科です。

Q2.　当院で診療している、具体的な疾患などを教えてください

親知らずの抜歯やインプラント治療などでご紹介いただくことが多いです。
静脈内鎮静や全身麻酔を併用した抜歯等も対応可能です。

当院の口腔外科では、地域の歯科医院と連携して診療を行っております。
まずはかかりつけの歯科医院にてご相談いただき、必要な場合は紹介状を作成してもらった上で予約をお取りください。



Q3.　日々の業務内容について教えてください

基本は外来診療を行って、皆様の受診をお待ちしております。
手術日には、全身麻酔下での手術を行っています。
また、歯科衛生士が主体となって、入院患者様の口腔ケアを積極的に行っています。

遠藤　研人 先生に聞きました

Q4.　診療にあたり心掛けていることはありますか？

多くの患者様は、自分がどのような状態なのか、どのような治療を行っていくのか、疑問や不安を抱えて受診されていることと思います。
診療を通じて疑問や不安が解消され、患者様が納得する治療方針を立案できるように心がけております。

Q5.　AOI国際病院にきてよかったことはありますか？

病院内の様々な部署の方々とかかわることが多いですが、皆さん優しく、環境に恵まれていると感じています。



田島先生・遠藤先生と
歯科口腔外科スタッフのみなさん

Q6.　プライベートな質問ですが、お休みの日はなにをしていますか？

１日中家から出ないということはあまりなくて、予定がなかったとしても、近くへ買い物をしに行ったり、なんだかんだで外出しているような気がします。

Q7.　先生のリラックス法やストレス解消法があればおしえてください

しっかり食べて、しっかり寝る。これが１番大事だと思います！

Q8.　地域のみなさま・患者さまに一言おねがいします！

お口にまつわる悩みがございましたら、ぜひ１度AOI国際病院　歯科・口腔外科へご相談ください！

歯科口腔外科　外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	遠藤	田島 三浦	田島 遠藤	手術	遠藤 三浦	遠藤
午後	遠藤	田島 三浦	田島 遠藤	遠藤 木脇	遠藤 三浦	遠藤

新任医師のご紹介



循環器内科

重田　卓俊

東京医科歯科大学
2010年卒

資格・専門医	内科認定医、循環器専門医、不整脈専門医
経歴	2010年　災害医療センター　初期研修 2012年　横須賀共済病院　循環器内科 2014年　草加市立病院　循環器内科 2016年　横浜市立みなと赤十字病院　循環器内科 2022年　東京医科歯科大学病院　循環器内科 2023年　St Bartholomew’s Hospital　Research Fellow 2025年　東京山手メディカルセンター　循環器内科
医師を目指したきっかけ	困っている人を助ける仕事がしたいという思い
診療にあたり心がけていること	丁寧に患者様と話をして、患者様にとって最善の選択ができるように心がけています。
趣味・好きなこと	スポーツ観戦、マラソン
患者様へ一言	2016年から6年間、横浜市立みなと赤十字病院で沖重薫先生、山内康照先生のもとで不整脈診療を行い、2023年4月から2年間イギリスで留学し、心房細動治療を中心とした不整脈診療で有名なRichard Schilling先生のもとで学び、この度2026年4月よりAOI国際病院に赴任いたしました。 専門は不整脈診療で、特に心房細動カテーテルアブレーション治療を中心に診療をして参りました。高齢化に伴い心不全や心房細動の患者様が増加しており、その診療が非常に重要になってきております。お困りの患者様がいらっしゃいましたらお気軽に相談していただければ幸いです。 今後ともよろしくお願いいたします。



腎臓内科・緩和ケア

吉川　央子

昭和大学
2001年卒

資格・専門医	総合内科専門医、腎臓専門医、透析専門医
経歴	2001年　昭和大学医学部卒業 2001年　昭和大学病院　腎臓内科入局 2009年～2016年　福島県、東京近郊の病院・クリニックにて非常勤勤務 2016年　牧田総合病院　腎臓内科 2024年　AOI国際病院　非常勤勤務 2026年　AOI国際病院入職
医師を目指したきっかけ	母が医師でした。幼少期、日々、患者様の診療で、休日や夜間も家を空けていた母を助けたいと思ったことがきっかけです。
診療にあたり心がけていること	患者様が納得して治療に臨めるよう、患者様の置かれている状況や立場になって考え、何に困り、何を望んでいるのか理解しようと心がけています。
趣味・好きなこと	愛犬と散歩、戯れること。子供が寝たあとの映画・ドラマ鑑賞。
患者様へ一言	腎機能や尿検査異常などご心配な点があれば、お気軽にご受診ください。

新任医師のご紹介



整形外科
鈴木　涼平
昭和大学
2009年卒

資格・専門医	救急科専門医、集中治療科専門医、整形外科学会所属
経歴	2009年　昭和大学医学部卒業 2009年　昭和大学横浜市北部病院 2011年　昭和大学藤が丘病院　救急医学科 2015年　自治医科大学附属さいたま医療センター救急科 2019年　AOI国際病院　整形外科 2022年　苑田会人工関節センター病院　整形外科
医師を目指したきっかけ	尊敬する祖父が医師だったため
診療にあたり心がけていること	患者様の幸せを第一に考えております。
趣味・好きなこと	読書、音楽鑑賞、キャンプ
患者様へ一言	膝と股関節の痛みにお悩みの方はお気軽にご相談ください。



消化器外科
石﨑　俊太
東京慈恵会医科大学
2018年卒

資格・専門医	外科学会専門医、消化器外科専門医 消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会評議員
医師を目指したきっかけ	人のためになる職業に就きたいと思ったため
診療にあたり心がけていること	患者様との信頼関係をしっかり築き診療にあたれるよう努めております。
趣味・好きなこと	中・高・大とバスケットボールをやっておりました。 今はもう体が動かないのでやれていませんが、NBAなどは今でも大好きです。 あとは旅行(特に海外旅行)が好きです。
患者様へ一言	はじめまして、慈恵大学肝胆膵外科に所属しておりこの度2026年4月よりAOI国際病院に赴任いたしました。 まだまだ至らぬところも多いかと思いますが、皆様のお力になれますよう努力していきたいと思います。



消化器外科
鈴木　真子
東京慈恵会医科大学
2022年卒

医師を目指したきっかけ	人の役に立つ仕事をしたいと思ったため
診療にあたり心がけていること	患者様一人ひとりに寄り添って、最善の医療を提供します。 知識や技術のアップデートに努めます。
趣味・好きなこと	クラリネット（吹奏楽、オーケストラ）
患者様へ一言	４月より赴任いたしました。地域の皆様のお役に立てるよう精一杯努めます。些細なことでもお気軽にご相談ください。 これから宜しくお願い致します。

新任医師のご紹介



麻酔科
石川　慧介
信州大学
2007年卒

資格・専門医	麻酔科認定専門医、麻酔科指導医
経歴	2007年　信州大学医学部卒業 2009年　東京大学麻酔科入局 大学病院ならびに関連病院での勤務を経て、 2019年　虎の門病院麻酔科 2023年　同愛会病院麻酔科 2026年　AOI国際病院麻酔科
医師を目指したきっかけ	実は、特にないんです・・・
診療にあたり心がけていること	高齢化社会を背景として様々な合併症を有する患者様が増加していますが、患者様の生命と安全を守るという麻酔科医の使命を果たすべく、全身状態を的確に評価して最適な麻酔方法を実施するように努めています。
趣味・好きなこと	息子のサッカー観戦
患者様へ一言	いかなる病気をお持ちの方でも安全かつ快適な手術・麻酔を受けられるように、手術室一同が協力して取り組んでいます。



麻酔科
大熊　歌奈子
北里大学
2009年卒

資格・専門医	麻酔科認定専門医、麻酔科指導医
経歴	医局関連病院で勤めてまいりました。
医師を目指したきっかけ	高校生の頃に日本で初めての女性医師である荻野吟子の本を読んで影響を受けたことと、家族でかかりつけ医の先生がおり、影響を受けたことがきっかけです。
診療にあたり心がけていること	他科やコメディカルの方たちと、お互いに連携をとり円滑に物事をすすめる事を心掛けております。患者様やご家族の不安を少しでも軽減できるよう努めてまいります。
趣味・好きなこと	食や日用品に関する新しい情報を調べる事
患者様へ一言	新体制となりました麻酔科の一員として赴任いたしました。 手術が増えるよう貢献できたら、と思います。 宜しくお願い致します。



よろしくお願いします

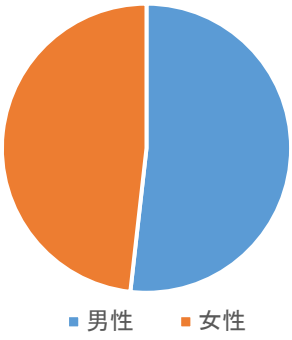
地域の皆様が安心して医療を受けていただけるよう、職員一同邁進してまいります。



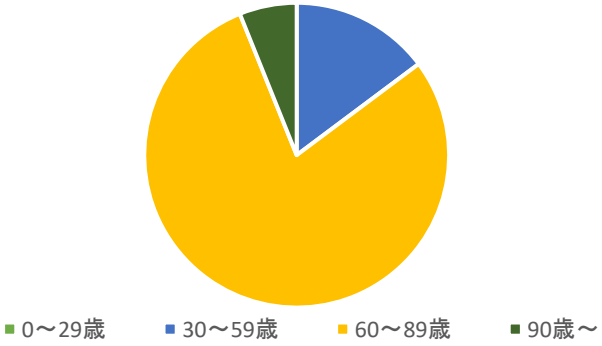
患者満足度調査　結果

患者サービス・接遇の向上のため、2025年11月～12月に患者満足度調査を実施いたしました。
アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

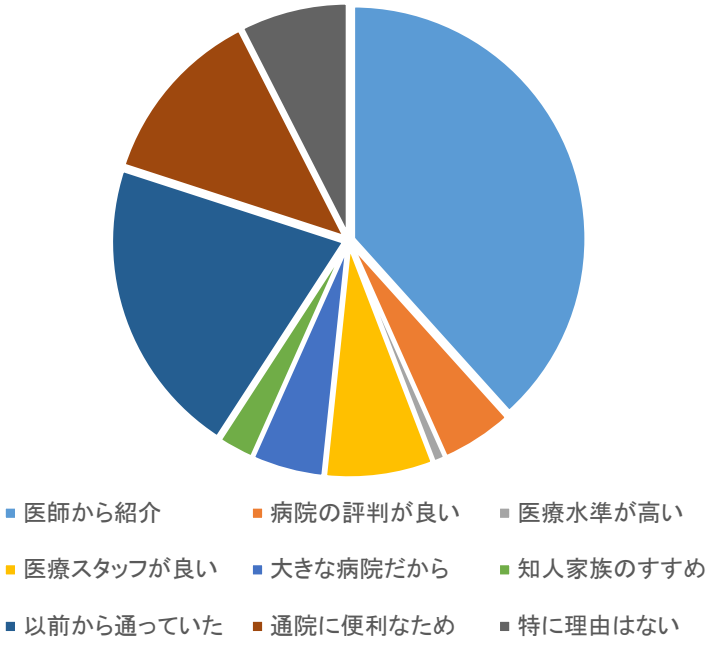
男女比



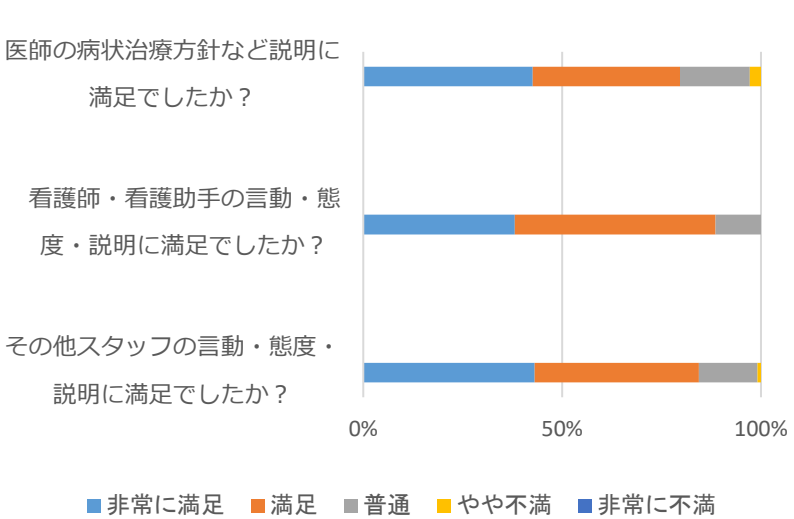
年齢



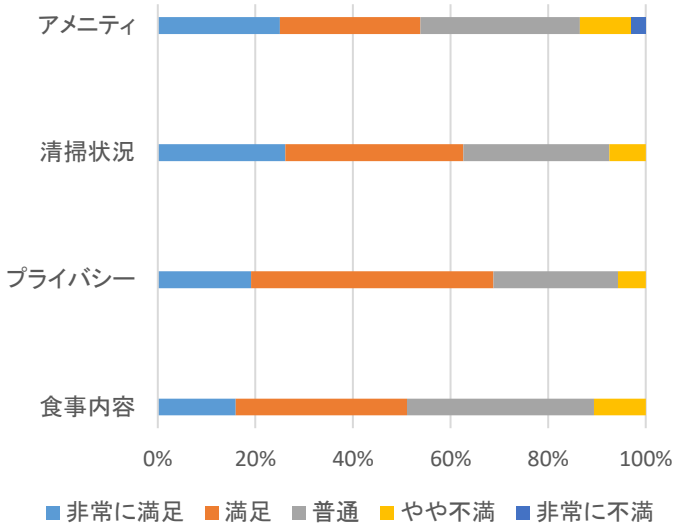
当院を選んだ理由



職員について



入院生活について



編集後記

蒸し暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の梅雨も昨年のような猛暑になるかと思っていましたが、厳しい暑さが続いた昨年とは異なり、今年は天候や気温が安定せず、蒸し暑い日もあれば、雨の影響で肌寒く感じる日もあり、寒暖差の大きい日が続いています。とはいえ、今年の夏も全国的に気温が平年より高く、厳しい猛暑となる見込みのようです。

今年４月、気象庁よりこれまでの「猛暑日」を上回るような危険な暑さの日を表す言葉として、新たに「酷暑日」という名称が発表されました。



- 酷暑日：最高気温が40℃以上
- 猛暑日：最高気温が35℃以上
- 真夏日：最高気温が30℃以上
- 夏　日：最高気温が25℃以上

今年は5月からすでに真夏日が観測されており、全国の複数の観測地点で、5月の「真夏日」最多記録（またはタイ記録）を更新しました。 年々暑さが増しているように感じているのは、年のせいではなかったようです。 昭和生まれの私としては、ついつい根性論で乗り切ろうと考えてしまうこともありますが、「観測史上最高」という言葉が示すように、私たちは今まで経験したことのない暑さの中にいます。これまでの根性論では対応しきれない状況かもしれません。こうした記録的な暑さに対しては、これまで以上に慎重な体調管理が求められます。

よく患者様から「こんなことで受診してもいいですか？」と受診を躊躇されてる方がおられます。しかし、熱中症や脱水は「少しおかしいな」と感じたときの対応が大切です。無理をして症状が悪化する前に、早めに休み、必要であればお気軽にご相談ください。
こまめな水分補給、適切な休憩、エアコンの適切な使用、そして何より「無理をしない」という意識が大切だと思います。



今年の夏も長く厳しくなりそうです。幸いなことに、神奈川県内では今まで「酷暑日」の観測事例はありませんが、今後全国各地で「酷暑日」が記録されることも増えてくるかもしれません。
くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

地域連携室　飛山

患者さまのご紹介、ご予約のお問い合わせは
地域医療連携室　TEL　044-277-5519(直通)
FAX　044-277-5747